

## 統合システム運用管理「JP1」がグローバルビジネスを展開するお客さまを世界各国で強力にサポート

著しい経済成長を続けている中国や東南アジア諸国には、世界各国から企業進出が進んでいます。日系企業においても、製造業・非製造業を問わずさまざまな業種で、アジアでビジネスを行う企業が増加しました。

そこでは国内と同様、信頼性の高いシステム運用や業務の自動化、セキュリティ対策などを実現したITインフラや、現地のニーズに即した質の高いサービスを提供できることが求められています。

日立は、日本の運用管理ソフトウェア市場でデファクトの地位を維持し続けている「JP1」のグローバル提供を1990年代から積極的に推進し、海外で活躍する日系企業やローカル企業の多岐に渡る問題解決を強力にサポートしています。



ソフトウェア事業部  
JP1ビジネスアライアンスセンタ  
センタ長 高橋 明男

**Q** JP1は日本だけでなく海外でも広く活用されていると聞きました。実際に、どのような導入実績があるのでしょうか。

**A** 日本の運用管理ソフトウェア市場で高いシェアを維持しているJP1は、おかげさまで欧米やアジア市場でも非常に高い評価をいただいています。海外における導入企業数も、日系企業・ローカル企業を合わせて1,000社に迫る勢いとなりました。

グローバルビジネスが浸透した日本では、中国や東南アジアに海外法人を置く企業が数多く存在します。なかでも急速に発展している中国市場では、ビジネスの基盤となる情報システムの高度化・複雑化が進み、日本国内と同様にシステム運用管理の重要性が増しています。

こうしたお客さまのグローバル展開と海外法人における情報システムの導入・運用にかかわる問題解決を支援するため、日立は1990年代から東南アジア地域にJP1製品の販売とサポート、ソリューション提供のための拠点を設置。韓国、中国、ベトナムなど、サポート拠点を年々増加・拡大させてきました。お客さまからの評価でも、92%から「継続してJP1を購入したい」という希望をいただいています。

一連の活動は各国各界でも評価をいただき、特に中国では、2003年から2007年の間に、顧客満足度や実用性、安全性に優れたソフトウェア製品に与えられる「中国信息产业成功营销奖」「中国优秀IT产品奖」「中国政府行业信息化优秀解决方案奖」といった各賞を、合計29件受賞しています。

今後も実績と顧客満足で、2010年に統合システム運用管理アジアNo.1の評価を得ることをめざし、グローバル提供を加速させていきます。

1 2007年度見直し  
2 自社アンケート調査による(2007年3月)

**Q** 日立は海外において、JP1を適用したソリューションを、どのように提供してくれるのですか。

**A** 現在、日系企業は製造業(電気機器、輸送機器等)や流通業などを中心に中国や東南アジアへの事業拡充を急ピッチで進めており、IT基盤の整備がますます重要な課題となっています。こうした企業にとって、現地のニーズに即したシステムを迅速に開発し、限られた経営資源で運用していくのは非常に困難な課題です。

また、海外法人では本業以外の作業に時間をとられることが多く、現状に合わない情報システムを利用していることも珍しくありません。そして想像以上に市場変化の激しいアジアでは、現地の状況に即したITを導入・運用していくことが、迅速な意思決定と、質の高いサービスを実現するために欠かせない要素となっています。

こうした状況下において、「本社のシステムポリシーに沿った運用が行われているか」「クライアントのセキュリティソフトは常に最新のバージョンに保たれているか」「違法なソフトウェアを使って

中国版JP1広告ポスター



JP1新製品発表会(中国, 2007/3)

JP1新製品発表会(シンガポール, 2006/12)

## 海外におけるJP1新製品発表会

いないか」「多拠点のシステム監視をいかに効率化できるか」といった複雑な課題に対応していくには、先進的なシステム構築と運用管理のノウハウだけでなく、現地のシステムや運用手法にも精通した優れた技術者やSIパートナーが必要です。

そこで日立は、中国、東南アジアをはじめとする販売・サポート拠点に日本人スタッフと現地スタッフを常駐させるとともに、幅広いエリアでのきめ細かなサポートを提供するため、実力ある現地企業とのパートナーングにも力を注いでいます。これがJP1を適用したシステム運用管理ソリューションで、お客さまのビジネス課題をスピーディに解決する強固な基盤となっています。

日立はJP1を販売する際に、必ずサポートも一体化した形で提供を行っています。お客さまの課題の解決策を現地で共に考え、時にはお客さまの日本本社と海外法人とのシステム戦略の橋渡し役となり、問題解決まで責任を持って対応すること - それが海外で着実に実績を重ねてきたJP1のポリシーです。

**Q** 今後、JP1はアジアでどのようなサポートやソリューションを提供していくのでしょうか?

**A** 2008年の北京五輪や、2010年の上海国際博覧会の開催に向け、市場の伸びが加速している中国では、携帯電話の出荷台数が累計で5億台を突破。今後は3G携帯(第3世代携帯電話)の普及等により、情報通信サービス市場のさらなる拡大が予想されています。今後益々活況が予想される市場でビジネスを進める日系企業へのサポートはもとより、日本国内の通信キャリア向けソリューションで培ったJP1の豊富なノウハウをベースにした、中国通信業界向けのJP1ソリューションの提供にも力を注ぎ、日系企業とローカル企業、両方のビジネスをサポートしていきます。

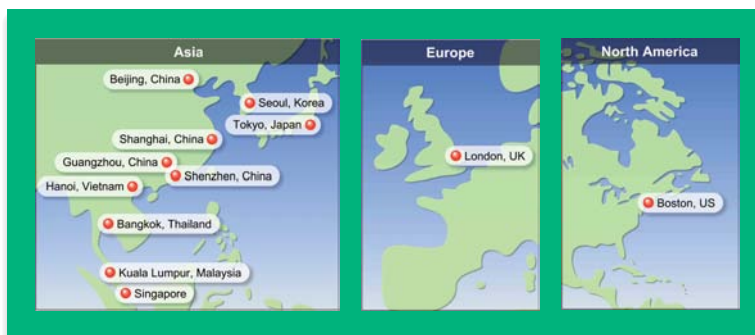
一方、自動車関連産業の集積化が進んでいるタイで

は、日系自動車メーカーを中心に部品サプライヤーが多く事業展開していて、情報システム基盤の運用管理ニーズがますます高度化してくると予想されます。新興市場として注目を浴び、質の高い労働力を擁するベトナムにも、大手製造業の進出が進んでおり、JP1の適用ニーズが拡大してきました。

さらに、グローバルビジネスの進展とともに、国際的な会計基準やコンプライアンス(法令遵守)などへの取り組みも、中国・東南アジア市場では避けて通れない課題となっています。このため海外法人でも、ITサービスマネジメントの国際規格であるISO20000やITIL®(IT Infrastructure Library)内部統制への対応が急務となっており、これらを強力に支援するJP1への期待が強くなっています。

こうしたお客さまのさまざまな課題を解決するため、日立は今後ともJP1の販売・サービス拠点の拡充とサポート力の強化に加え、お客さま個別のお悩みを解決する付加価値の高いソリューション提供を積極的に推進していきます。

多くのお客さまから、高い評価と信頼をいただいているJP1は、アジアそして世界でも“日本発のソフトウェア”として着実に導入実績とプレゼンスを向上させています。海外で活躍する日系企業やローカル企業の幅広い問題解決を強力にサポートするJP1を、お客さまのビジネスに、ぜひお役立てください。



JP1 グローバルサポート拠点

## お問い合わせ先

(株)日立製作所 ソフトウェア事業部 販売企画センター  
TEL(03)6471-2592

情報提供サービス  
<http://www.hitachi.co.jp/jp1-e/>